



チルドレンファーストの社会

- ◆ [望む人が安心して子供を産み育てることができる社会の実現](#) ----- 20
- ◆ [育児と仕事を両立し自らの人生を選択できる社会の実現](#) ----- 21
- ◆ [子供の『最善の』利益を最優先に、子供が主役の社会へ](#) ----- 22
- 【コラム】[子供や子育て世帯を社会全体で応援する「こどもDX」](#) ----- 24

予想を超える速さで進展する少子化に対し、あらゆる対策を迅速に展開するため、本来国が取り組むべき高校等授業料の実質無償化や学校給食費の負担軽減への支援に踏み出し、経済的負担の軽減を大胆に行うなど、子育てを全力でサポート

出会い・結婚

- ◆ 出会いの機会を創出
 - ・ AIマッチングシステムをポータルサイトと連携し、本格稼働
 - ・ 交流イベント実施回数拡大（5→10回程度）
 - ・ WEB婚活相談の窓口枠を拡大



結婚を希望する方への後押し

妊娠・出産

- ◆ 経済的負担の軽減を大胆に実施
 - ・ 0歳から18歳の子供たちに1人当たり月額5千円を支給する「018サポート」
 - ・ 「出産・子育て応援事業」と「ときようママパパ応援事業」を連動し切れ目なく支援



- ・ 収入や第一子の年齢に関わらず、0歳から2歳児の第二子の保育料を無償化
- ・ 保護者の就労等に関わらず、保育所等で乳幼児を定期的に預かる取組の第二子以降の利用料を無償化

子育て家庭への支援

◆ 卵子凍結への支援

- ・ 未受精卵凍結への費用助成件数を拡大（200件→2,000件）
※当初予算ベースでの比較
- ・ 凍結卵子を使用した生殖補助医療への費用を助成
- ・ 妊娠・出産に関する講座への参加者が受けられる検査種目を拡充、男性向けメニューを追加

妊娠支援・不妊治療等

乳幼児期

教育・子育て環境・保育の充実

- ◆ 「小1の壁」解消に向けた学童クラブへの支援など、子育て環境や教育等の質を向上
 - ・ 認証保育所・認可外保育施設における虐待等の不適切な保育に関する相談窓口を設置
 - ・ SNSなどから日常的な不安や悩みを相談できるチャット相談を開始
 - ・ 「孤育て」防止のため、定期訪問等による見守りと傾聴・協働による伴走支援を行う区市町村を拡大



子供の安全

- ◆ 「防げる事故」を確実に防ぐための環境づくり
 - ・ 事故情報を収集・分析し、子供の成長・発達段階に応じた、エビデンスベースの事故予防策を開発・展開

学齢期・高校生

学校授業料の負担軽減 所得制限撤廃

- ・ 高校等授業料の実質無償化
- ・ 都立大等授業料の助成の実質無償化
- ・ 私立中学校等授業料の助成
- ・ 学校給食費の負担軽減



- ・ 都独自の認証学童クラブ制度の創設に向け、調査研究を実施、区市町村において一部先行実施
- ・ 昼食提供を行う学童クラブの経費を補助し、昼食発注業務や集金業務に対する負担を軽減
- ・ 私立専修学校高等課程の運営費の一部を補助



ヘルユースケア

- ◆ 思春期の悩みに対する相談体制等を強化
 - ・ 産婦人科学校医を任用する都立高校等を拡大し、対面又はオンラインによる個別相談の機会を充実
 - ・ ときよう若者ヘルスサポート（わかさぼ）の拡充
 - ・ SNS等で「ユースヘルスケア」を戦略的に発信

住まい

- ◆ 東京こどもすくすく住宅の更なる供給促進
 - ・ 東京こどもすくすく住宅の認定を取得する事業者への直接的な支援の規模を拡大（約1,600戸→約3,000戸）
 - ・ 子育て世帯に配慮された戸建住宅における認定制度のあり方について検討



社会気運・環境整備

- ◆ 結婚を望む方や子育て中の方を社会全体で応援
 - ・ 婚活から結婚後の生活に係るエピソードを漫画化し公開
 - ・ 結婚にまつわる「思い出ソング」を広く募集し紹介
 - ・ 「プッシュ型子育てサービス」や「保活ワンストップ」等を実現し、こどもDXを推進
 - ・ 妊娠・出産・育児等の一連の知識や支援策を都内企業等に広く普及啓発
 - ・ 都営地下鉄車内における子育て応援スペースを拡充



© Mercis bv

出会いから結婚、妊娠・出産、子育てまでライフステージを通じてシームレスに支援

望む人が結婚、妊娠・出産、子育てを自らが希望するタイミングで選択できるよう、若年層や子育て世帯の経済基盤の確保、男性育業の取得や子育てしやすい働き方を推進

経済基盤の充実

◆ 企業による賃上げを促進

- 都内中小企業に対する、賃上げに関する手法等の周知啓発
- 専門家による賃金制度整備の支援、賃上げ取組企業の好事例紹介等を実施



◆ リスキング、再就職を支援

- 中小企業が従業員に対して実施する短時間の訓練やDX関連の訓練の費用助成を拡充
- 女性求職者にオフィスソフト等の講座を実施するとともに、デジタルスキル等を紹介し、デジタル人材の裾野を拡大
- AI等を活用したカウンセリングとリスキング、派遣就労を組み合わせ、適職へのキャリアチェンジ再就職を支援



育業の更なる推進

◆ 育業しやすい職場環境の整備

- 育業を支える同僚への応援手当の支給など、従業員の育業を後押しする企業に対する奨励金を拡充
- 「男性育業推進リーダー」を社内に配置し、男性育業の取得を広く波及する企業を支援



◆ ターゲットに応じた普及啓発

- 上司や同僚の意識改革のきっかけとなる育業する社員等とのエピソード動画を制作・啓発
- 著名人講師等による企業への育業出前研修を実施、企業内研修に活用できるよう研修教材を公開
- 学生等に育児と仕事の両立を考えるきっかけとなる体験の機会を提供



仕事と子育ての両立

◆ 企業の取組を後押し

- 従業員のエンゲージメント向上や結婚から子育てまでのライフステージの支援、賃上げに取り組む企業を支援
- 育児と仕事の両立に向けて、子連れ出勤等を推進する企業を支援



◆ 育児を抱える方の就職を支援

- 育児等の事情を抱える求職者に対し、1日の受講時間が短い職業訓練等を提供し、再就職を支援
- 身近な地域での就職マッチングイベントを開催し、育児を抱える女性の就職を後押し



柔軟で質の高い働き方の推進

◆ サテライトオフィスの導入を促進

- 都内中小企業等がサテライトオフィス勤務を可能とする規定を整備し、従業員が利用した場合に奨励金を支給
- サテライトオフィスの利用を検討する企業や施設運営者等の交流の機会を創出



◆ テレワークの定着を強化

- 都内中小企業等がポストコロナの「テレワークルール」を定めるための取組を実施した場合に、奨励金を支給
- 育児・介護と仕事の両立支援を契機にテレワークを導入する都内中小企業に対して、機器導入経費等を助成、専門家を派遣



次代を担う世代が未来に希望を抱き、自己実現を叶えられる東京へ

- 子供の声や思いをつぶさに把握し、子供が社会参加できる環境整備を進めることにより、子供の意見を施策に反映
- 子供の伸びる・育つを大切に育むために、子供一人ひとりに寄り添ったきめ細かな政策を着実に推進

子供の意見やエビデンスに基づく子供政策の推進

◆ 政策形成の過程に参加する機会を創出

- 子供に関する施策について、公募する中高生が議論し、政策提案を行う「中高生政策提案ミーティング」を実施



◆ 子供目線の取組を全庁的に推進

- 子供の意見を庁内各局の施策に反映させるため、「こども都庁モニター」のアンケート実施回数を拡大
- 子供の成長発達段階に応じて調査結果等を分かりやすくフィードバック



◆ 子供の居場所でのヒアリングを実施

- 様々な環境下にある子供から意見を聴くため、多様な子供の居場所においてヒアリングを実施
- ヒアリングのノウハウをまとめた事例集を区市町村と共有



◆ より強固なエビデンスを確保

- 定点調査である「とうきょうこどもアンケート」の精度向上のため、分析対象となるデータの数を増加
- データの蓄積により経年変化を分析し、より強固なエビデンスに基づいた子供政策を展開



子供の声を中心に据えた取組を加速させ、子供の目線に立った政策を推進

官民一体となって
こどもスマイルムーブメントを展開

◆ 社会参画の機会を幅広く提供

- 企業・団体が取り組む地域課題や社会課題について、子供が主体的に考え、アイデアを発表する「ティーンズ・アイデアコンテスト（仮称）」を創設



◆ 子供たちとの対話の機会を創出

- 子供たちと各界の第一線で活躍する著名人との対話イベントを開催
- 子供の発見や学びにつなげ、「子供を大切にする」というメッセージを広く発信



「東京都こども基本条例」の
理解促進に向けた普及啓発

◆ 子供政策の先進自治体との交流・意見交換

- 子供政策に関する国内の先進自治体の子供たちと、都の子供たちが一堂に会し、交流・意見交換をする「TEENS SQUARE」を開催



◆ 都の子供政策を世界に広く発信

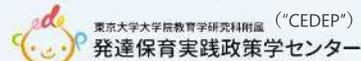
- 海外の子供政策先進都市等の実務責任者を東京に招聘し、各都市の子供政策を紹介
- 知見・課題及び解決策を共有・議論する「世界こども東京会議（仮称）」を開催



探究活動の実践を通じ、
乳幼児の子育ちを応援

◆ 幼保共通プログラムを都内全域に展開

- “CEDEP”との連携の下、乳幼児の成長と発達をサポートする「とうきょう すくわくプログラム」を都内全域に展開
- 意欲ある全ての園でプログラムを実践できるよう、必要な経費を補助



◆ プログラム実施へのサポートを充実

- 幼稚園・保育所等が円滑に「とうきょう すくわくプログラム」に取り組めるよう、“CEDEP”と連携し、専門的かつ継続的な研修・相談体制を構築



ハード・ソフトの両面から
子供の笑顔につながる「遊び」を推進

◆ 子供の意見を反映した遊び場の整備

- 子供の意見を反映した遊び場づくりを強力に推進
- プレーパークやボール遊び場をはじめ、居場所等の機能も有する多種多様な遊び場を創出する区市町村への支援を強化



◆ 子供が主体的に遊ぶ体験機会の創出

- 子供が主体的かつ安全に遊ぶ機会を創出するため、質の高い遊びの環境づくりに取り組む区市町村を支援



多様な主体と協働・連携を深め、子供へのサポートを強化

自分らしく成長できるよう
学校外の学び・居場所の選択肢を多様化

◆ フリースクール等の利用者等やフリースクール等への支援を開始

- 不登校状態にある義務教育段階の子供に対するフリースクール等の利用料の助成
- 不登校（傾向）の子供の保護者が抱える不安・悩みに対するサポートを実施
- 子供目線に立った取組を行う都内のフリースクール等に対して、子供の活動支援の充実等への支援を開始



◆ 学校外の多様な学びの調査研究に着手

- 子供の興味関心を引き出し、知的好奇心を最大化するメソッドについて、大学等の専門機関やフリースクール等と連携した調査研究を実施



子育てに全力で取り組む
区市町村を支援

◆ 区市町村の先駆的・分野横断的な取組を支援

- 子供の意見を反映した子供政策や、地域の実情を踏まえた少子化対策を支援

R 5 年度採択事例

【品川区（子供政策）】

- 児童館と同じ建物に児童発達支援センターを新設し、障害のある子供・障害のない子供と一緒に遊び、交流できる拠点を整備



【東久留米市（少子化対策）】

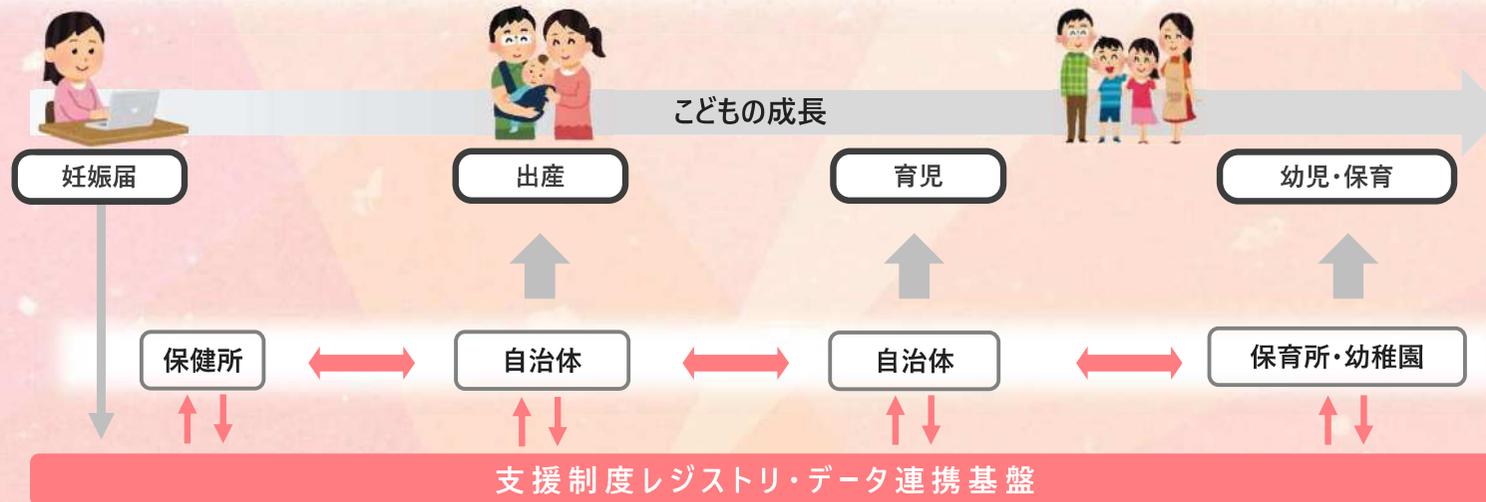
- 男性の家事・育児参加促進のための講演会や父子による地場産野菜の収穫体験・料理教室を実施



子供や子育て世帯を社会全体で応援する「こどもDX」

「こどもDX」の推進

- チルドレンファーストの社会を実現するためには、デジタル分野においても、組織や行政の垣根を越えて便利で快適な子育て支援サービスを実現することが重要です。
- 子供や子育て世帯を社会全体で応援するため、都が先導し、多様な主体による子育てサービスをつなげ、切れ目なく届ける「こどもDX」を推進していきます。



2025年度までに実現する4つのプロジェクト

プッシュ型子育てサービス

子育てに必要な情報が先回り届く「プッシュ型子育てサービス」を実装



母子保健オンラインサービス

乳幼児の医療費助成・予防接種・検診をマイナンバーを活用してデジタル化



保活ワンストップ

保育園探しから入園までの手続きがオンラインで完結する「保活ワンストップ」を実装



給付金手続きの利便性向上

国、自治体の連携の下、ワンズオンリーの徹底や簡単便利で迅速・効率的な給付を実現





世界を舞台に輝く人材を創出

- ◆ [東京から社会の仕組みや意識を変え、女性が自分らしく輝く](#) ----- 32
- ◆ [一人ひとりが希望に応じた働き方を実現し、生涯活躍できる社会へ](#) ----- 33
- ◆ [子供・若者への投資を拡大し、未来を担うリーダーを育成](#) ----- 34
- 【コラム】[運輸業、建設業、医療の2024年問題を乗り越えるために](#)----- 36

いわゆる「年収の壁」をはじめとする社会の仕組みや女性への家事・育児負担の偏り、性別によるアンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）など、変化を遂げられていない構造的課題を、キャリア形成とマインドチェンジの両輪により解決

希望に応じたキャリア形成を支える仕組みづくり



◆ 「年収の壁」等の女性の活躍を妨げる仕組みを職場から改善

- 「年収の壁」の正確な理解を促すほか、配偶者手当等の見直しに取り組んだ中小企業に奨励金を支給
- 短時間勤務の従業員を管理職に登用するなど、働く女性が活躍できる職場環境づくりに取り組む中小企業に奨励金を支給

◆ キャリアチェンジ・キャリアアップを徹底サポート

- 働く女性応援拠点を開設し、女性一人ひとりの状況にあったきめ細かな支援
- 非正規雇用で働く女性等のITエンジニアとしての就業促進に向け、能力開発と就職支援を一体的に実施
- ファンドを創設し、女性起業家や女性活躍に資するサービスなどを提供するスタートアップを支援

◆ ライフイベントと仕事との両立を支援する新たな仕掛け



- ターゲットごとにキャリアやライフプラン等を考えるきっかけづくりや社会保障の正確な理解を促進するための動画を作成
- 働き方の変更による生涯収入への影響等を可視化できるツールの構築
- フェムテックの製品・サービスの導入による企業の福利厚生制度の整備・拡充等を後押し



様々な角度から社会のマインドチェンジを推進

◆ 女性同士で悩みや相談に応えられる場を提供

- 進路選択におけるアンコンシャス・バイアスを払しょくするため、女子大学生と女子中高生との座談会を開催
- 女性が気軽に相談・交流し、同じ悩みをもつ女性同士で共感しあえる場「トークカフェ」を設置



◆ 社会全体で男性の家事・育児参画を後押し



- 妻が夫に分担してほしい家事の代表格「名もなき家事」の名前を都民募集し、「見える化」する取組を展開
- 「男性育業リーダー」を設置し、具体的取組等を実施した企業に奨励金を支給するとともに企業の認定制度を創設

◆ 企業同士を結び、先進的取組や経営層の意識改革を促進

- 女性活躍等を推進する企業等とのネットワークを構築し、参画企業横断での女性リーダー育成等を実施
- 中小企業が自社の女性活躍の推進状況を分析し、可視化できる診断ツールをオンラインで提供



女性が安心できるようあらゆる暴力を根絶

- 痴漢被害のない社会の実現に向け、専用サイトを開設するとともに、被害者向けの事後サポートスキームを構築
- 性被害に係る問題を相談できるSNS相談窓口を設置
- 配偶者暴力防止法の改正等を踏まえ、区市町村職員等向けに、被害者保護や適切な支援方法等に関する基礎知識を習得できる教材を作成



活躍・安心をサポートし、多様性と活力が向上

女性が自らの希望に応じて輝ける社会と成長の好循環を実現



高い生産性とライフ・ワーク・バランスが両立した、新たな時代に即した多様な働き方の環境整備を加速するとともに、幅広い世代が産業構造の変化に対応できるよう、リスキング等の学び直しに関する取組を一層推進

働き方改革の推進力を更に高め、新たな時代の働き方を実現

◆スマートかつサステナブルな働き方の実現に向けた支援を充実

- 従業員のエンゲージメント向上に向け、週休3日制、フレックスタイム制、子育て支援勤務制度等の導入や、賃上げに取り組む企業を支援
- 中期的な視点による人材戦略構築・人材マネジメントから、兼業・副業等の幅広い人材の具体的な採用・活用まで総合的に支援



従業員ニーズや運用上の課題を踏まえたポストコロナの「テレワークルール」を定める取組を実施した企業を支援



働き方改革の推進をサポートする専門家派遣や、デジタル等を活用した働き方改革に関するフォーラムを開催

◆働き方の更なる改革により、生産性の高い「未来の働き方」を実現

- 働き方改革に積極的に取り組んでいる企業を「東京サステナブルワーク企業」として登録
- テクノロジーを活用した「未来の働き方」を実現している企業を「Tokyo Future Work Award」として表彰するなどにより、生産性の高い新しい働き方の気運を醸成



働く人の能力を活かせる「賃金・処遇制度」

テレワークの推進



残業が少ない働き方



休暇を取りやすい職場環境



望まない転職のない働き方



働きやすい就業環境



副業・兼業の推進

◆カスタマーハラスメント対策を進め、働きやすい職場づくりを加速

- カスタマーハラスメント防止に向け、東京ならではのルール作成や特設サイトの開設、シンポジウム等の取組を展開



生涯を通じた学び直しを促進するとともに、産業構造の変化に対応する人材を育成

◆生涯の学び直しをサポート

- 「東京リカレントナビ」のコンテンツの充実や広報の強化により、学び直しやキャリアアップ等を支援



- 区市町村や都内大学等と連携し、学び直しにつながる講座等の掲載を更に充実させ、都民の多様な学びのニーズに対応

◆求職者のスキルアップ等を後押し

- 訓練を見学し体験できる「職業能力開発センターしごとセンター校（仮称）」において職業訓練の魅力を発信
- 育児や介護などの事情を抱える求職者を対象に、1日の訓練時間が短いカリキュラム等で実施する職業訓練を提供
- AI等を活用したカウンセリングとリスキング、派遣就労を組み合わせ、適職へのキャリアチェンジ再就職を支援



リスキングにより産業構造の転換に対応

◆在職者のキャリアアップ等を後押し

- 職業能力開発センターの訓練を通じて従業員の技能習得を図る中小企業に、奨励金を支給し、ものづくり人材等の育成を推進
- 中小企業の従業員やその家族のリスキング経費を、融資により支援
- 中小企業が従業員に対して実施する短時間の訓練やDX関連の訓練の費用助成により、従業員のスキルアップを支援



多様な働き方の浸透や学び直しにより、誰もが時代の変化に対応して活躍できる社会を実現

子供・若者の英語力の向上や豊かな国際感覚の醸成、教育等のデジタル化の推進を図るとともに、教員の働き方改革により教育の質を高め、常識や前提にとらわれず未来を切り拓く人材を創出

英語を活用して世界に羽ばたき、日本を背負う若者を育成

◆様々な国際交流プログラムを新設

- 都立高校生等が海外の先端施設や大学に訪問する機会を設け、グローバルなフィールドで活躍する人材を育成
- 世界の高校生との様々な分野における交流等により、多文化共生社会の実現に向けた意識や豊かな国際感覚を醸成



◆英語を使用する楽しさや必要性を体感

- 都立高校生が海外留学を疑似体験できるTGGの宿泊プログラムを拡充し、海外に行かなくても「英語漬け」の環境を創出
- 英語を実践的に使う機会やキャリアプランを考える契機として、都立高校生が英語を活用する職場でインターンシップを体験



Fly to the
WORLD

◆教員の総合的な指導力を養成

- 英語科をはじめ様々な教科の教員を海外へ派遣し、生徒への英語教授法や海外の教育事情等を学び、グローバル人材育成に向けた指導力を向上

Let's use
ENGLISH

◆英語力を実践する機会の創出

- 令和6年3月開催の「Tokyo English Day(仮)」で、都内の高校生が自分の考えを英語で発信する実践的な発表の機会となるTEP-CUP*を開催、以降も英語学習の気運向上に向けた取組を推進

* Tokyo High School English Presentation CUP (都内高校生の英語プレゼンテーション大会)

◆生涯使える英語力へレベルアップ

- 中学校3年間を通した英語スピーキングテストにより、英語を「話すこと」の力を育成

◆都立大の国際化を推進

- 海外留学を必須とした国際副専攻コースや奨学金制度の拡充などにより、学生の国際交流を促進

挑戦者のマインドで日本の未来を創造する人材を輩出

◆大学発スタートアップ創出を強力に推進

- 大学に眠る技術シーズやアイデアを活用した起業・新事業創出や、その促進に向けた学内の体制整備の支援を拡充
- 都立大で単位認定可能な授業として「アントレプレナーシップ入門」を開講し、起業家性を醸成



◆学生や若者の挑戦を社会全体で応援

- 若者のチャレンジを後押しするサポーターの人材バンクを設置し、学校現場等へ講師を派遣するとともに、民間企業等とも連携し社会全体で挑戦者を応援する気運を醸成



◆次代を担うものづくり人材を工科高校から輩出

- 日本のものづくりを支えるスペシャリスト育成に向けた資格取得や、プログラミングなどのデジタルスキル習得を支援

◆都立大の研究力を向上

- 海外の若手研究者雇用、教員の海外派遣支援により世界水準の研究を推進
- 研究を支援する専門人材の増員など、大学の研究力を支える体制を強化



子供たちの力を伸ばすため、教育等のデジタル化を強力に推進

◆ AIを活用した学びをサポート



- 生成AIを安全に利用できる専用の環境を構築し、各教科の授業等で生成AIを効果的に活用【高特】



◆ 端末整備により、主体的・対話的な学びを支援



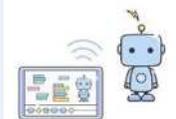
- 生徒が自在に端末を使うよう、一人1台端末購入支援を継続【高特】
- 一人1台端末の計画的な更新を支援【小中】



◆ デジタル体験の機会を拡充



- 小中学生を対象に、3Dプリンタによるものづくりやゲーム制作など幅広いデジタル体験や学びができる仕組みを導入する区市町村を新たに支援



◆ 教員の教え方にデジタルを活用



- 授業の流れや指導の方法を教師視点、子供視点で疑似体験できるVR動画等のコンテンツを開発・展開【小中高特】
- 授業における指導上のポイントの理解促進に向け、デジタルブックを作成し、教員に配布【小中高特】



目指す授業イメージ
(出典) 文部科学省「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について最終報告書」(2022年3月)

◆ 教育データを活用し、個別最適な学びを実現



- 教育ダッシュボードの機能を追加、利用校を拡大し、子供一人ひとりの個に応じた教育を実現、エビデンスベースの授業改善や学校経営に活用【高】



※【小中高特】小：小学校、中：中学校、高：高等学校、特：特別支援学校

教員の働き方改革を推し進め、意欲を持って働くことができる環境を整備し、教育の質を向上

授業準備

◆ 授業準備事務を支援し、指導に注力できる体制を整備

- 授業準備等の支援を行うスクール・サポート・スタッフの配置を支援【小中】



授業

◆ 専門性の高い外部人材を活用し、教育内容を充実

- 外国語活動や体育などの授業に専門性が高い人材を特別非常勤講師として活用【小】



学校の業務

◆ デジタル化等により授業以外の校務負担を軽減

- 保護者との連絡手段をデジタル化するなど、更なる業務の効率化【高特】
- 副校長を補佐する支援員の配置や小中学校のICT担当等の授業時数軽減を拡大【小中高特】



部活動

◆ 部活動改革による負担軽減や部活動の充実

- 部活動指導員の活用を平日 拡充【中高特】
- 部活動の地域移行を推進 土日 【中】



環境づくり

◆ 教員が安心して働き続けられる職場づくり

- 新規採用教員が、同世代の先輩教員等(メンター)に様々な相談を行うことができる仕組みを導入【小】



- 臨床心理士等が学校を訪問し、教職員と面談を行うアウトリーチ型相談を実施【小中高特】
- SNSを活用し、教職員が匿名で気軽に相談できる窓口を開設【小中高特】

月 日 曜日 日直

グローバルな現代社会を生き抜き、世界で活躍する人材を東京から数多く輩出

運輸業、建設業、医療の2024年問題を乗り越えるために

2024年問題とは

働き方改革の一環として労働基準法が改正され、時間外労働の上限が規定されました。上限規制は2019年4月（中小企業は2020年4月）から適用されていますが、運輸業（自動車運転の業務）、建設業（工作物の建設の事業）、医療（医業に従事する医師）等については、長時間労働の背景に業務の特性や取引慣行の課題があることから、時間外労働の上限について適用が5年間猶予され、また、一部特例つきの適用となっています。

2024年4月から、これらの業種でも時間外労働の上限規制が始まることから、人材の流出や労働時間の減少による労働力不足、物流・建設コストの上昇、配達・工期の遅れ等が懸念されており、2024年問題と呼ばれています。

「生産性向上」「人材確保」の視点で2024年問題への対策に取り組み、働き方改革を推進

生産性の向上



物流プロセスの改善やDX推進等による業務効率化

◆ 物流プロセスの改善

- 荷さばき可能な路外駐車場の確保
- 区市町村と連携した宅配ボックスの設置支援
- 再配達削減に向けた広報・PR活動
- 事業者による再配達削減に向けた啓発活動を支援
- 東京港におけるふ頭機能の強化やモーダルシフトの推進

◆ 物流・建設におけるDX

- デジタル技術活用に関する普及啓発や専門家派遣を実施
- デジタルツールやデジタル機器・設備等の導入に係る経費の一部を助成



◆ 建設現場における生産性の向上

- ウェアラブルカメラ等を活用した工事現場の遠隔臨場
- 工事書類のデジタル化、削減・簡素化

◆ 医療DXの推進

- 医療機関の電子カルテ導入に向けた環境整備を推進
- AI技術を活用した取組を支援



人材の確保



雇用の促進や医療のタスクシフトを支援

◆ 物流・建設における雇用の促進

- 相談員が訪問し、企業の状況に適した人材確保等の支援策を案内
- 求職者と企業のマッチングイベントを実施
- 企業の状況に精通した業界団体を通じ、中小企業の人材確保に資する取組を支援
- 都発注工事における週休二日制を前提とした適切な工期の確保、施工時期の平準化等



◆ 医療機関におけるタスクシフトの促進

- チーム医療の推進や医師の復職研修等を支援
- 救急部門における救急救命士の配置を支援し、タスクシフトを加速





誰もが個性を活かし活躍できる社会

- ◆ [互いに認め合い、支え合う多様性に富んだ社会の実現](#) ----- 38
- ◆ [人や地域のつながりを強化し、Communityを活性化](#) ----- 39
- ◆ [一人ひとりの悩みに正面から向き合い、あらゆる分野で支援を充実](#) ----- 40
- ◆ [世界陸上・デフリンピックやその先も見据え、あらゆるバリアを取り除く](#) ----- 42

互いの個性を認め合い、多様性を尊重しながら支えあえるインクルーシブシティを目指し、あらゆる人々がその力を最大限発揮し、誰もが輝ける真の共生社会を実現する



インクルーシブシティの実現を通じ、活力にあふれた東京へと発展

東京特有の実情を踏まえた地域のつながりの強化や、区市町村と連携した「居場所」の創出を通じて、人々のつながりや支え合いの輪を一層拡大

地域の「つながり」を強化



◆ マンションにおける防災意識を向上

- ・ 町会・自治会と合同した防災訓練を実施するマンションに、防災備蓄資器材補助を拡充するなど、「東京とどまるマンション」を対象とした支援を強化
- ・ 町会・自治会の住民とマンション居住者が、合同防災訓練により互いに知りあい共同で活動する機会を創出
- ・ マンション居住世帯を対象に、災害時の出来事を体感できるイベントを実施



◆ 地域コミュニティの中核である町会・自治会の活性化

- ・ 「まちの腕きき掲示板」の対象を都内全域の区市町村へ拡大
- ・ プロボノと協働して町会・自治会の課題を解決する「プロボノプロジェクト」を、「まちの腕きき掲示板」事業に統合し一元化
※プロボノ：仕事を通じて培った経験・スキルを活かして社会貢献活動をする人
- ・ いざという時に助け合える地域コミュニティの構築に向けて、町会・自治会を活性化させるための取組を実施
- ・ 都内全域で地域防災力強化を図っていくため、「地域の底力発展事業助成」における防災活動への助成率を引上げ



◆ 都営住宅を活用したコミュニティ活動の場を創出

- ・ 都営住宅の集会所等を地域交流の場として活用する「東京みんなでサロン」の実施箇所を拡大し、コミュニティを活性化
- ・ 都と協定を締結した大学の学生が都営住宅に入居し、自治会活動に協力する取組を推進し、都営住宅や地域のコミュニティ活動を支援



東京みんなでサロン

◆ ボランティア文化の定着

- ・ 東京ボランティアレガシーネットワークを活用し、若年層含む幅広い層への情報発信や、ユーザー同士の交流の機会を創出する取組等により、裾野拡大や活動継続を推進

誰もが集い、支え合う居場所・Communityが至るところに存在する東京を実現

「みんなの居場所」の創出



◆ 居場所創出に取り組む区市町村を支援

- ・ 多様な「居場所」の創出に全力で取り組む区市町村の先駆的・分野横断的取組をソフト・ハード両面から包括的に支援

中央区 暮らし×多世代交流×地域交流

晴海地域交流センター「はるみらい」における
地域コミュニティ拠点の創出

- ・ 「ふらっと立ち寄れる居場所」をコンセプトに地域コミュニティ拠点をリニューアル
- ・ 地域住民等で構成される運営協議会と連携したイベントなどにより、地域コミュニティの醸成に寄与



多世代交流・地域活動スタジオ (イメージ)

昭島市 子育て×地域交流×環境×防災

水と緑から始まる私たちの
居場所づくりプロジェクト

- ・ 新たな交流拠点施設整備を機会とし、市民の声を活かした「私たちの居場所づくり」を推進
- ・ こどもガーデンを通じた地域交流、施設機能を活かした地域防災イベントを実施



こどもガーデン (イメージ)

利島村 地域交流×若者×高齢者
×まちづくり×デジタル

空き家を活用した島内外の
人材交流拠点整備事業

- ・ 空き家をリノベーションし、「いつでも／誰でも」集合できる場として、コワーキングスペース及びカフェ機能を整備
- ・ 次世代コミュニケーションツールを活用した、他島や島外移住者との新たな交流の実現



リノベーションする空き家

孤独・孤立対策推進法の施行を踏まえ、包括的・分野横断的な取組の強化を図るとともに、子供や若者など、誰もが自ら望む生き方を選択できるよう、あらゆる角度からサポートを展開

自殺総合対策の充実

- 自殺ハイリスク者を地域の支援や精神科医療につなぐ「東京都こころといのちのサポートネット」において、子供への支援力強化に向けた子供サポートチームを設置
- 自死遺族総合支援窓口における受付日の拡充や相談体制の強化により、死別の直後から様々な問題に直面する自死遺族等を更に支援



包括的・分野横断的な支援体制

- 複雑化・複合化する課題に対応する重層的支援体制の整備に向け、先行自治体情報交換会の実施などを通じ、重層事業に取り組む自治体を支援
- 地域の実情に応じて孤独・孤立対策等に取り組む区市町村を支援



多様な居場所の創出

- 多様な「居場所」の創出に全力で取り組む区市町村の先駆的・分野横断的な取組をソフト・ハード両面から包括的に支援
- フリースクール等の利用者等への支援やフリースクール等に対する支援を開始
- 学校外の多様な学びの調査研究に着手



コミュニティの自走を目標に、伴走型支援を行うコミュニティビルダーを配置(足立区)



希薄化するつながりを結び直し、一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創る

子供

ヤングケアラー

- 支援機関を対象に調査を実施し、生活状況や利用サービス等について、多角的に状況を把握
- ヤングケアラーを支援する区市町村のネットワークを構築・強化



性被害の防止

- 「性暴力・性被害とは何か」について、10代の子供・若者向けにアニメ動画を制作・発信
- 教職員向けに性暴力防止や発見時の対応力向上のための動画を作成



児童虐待

- 子供家庭支援センターの機能強化、都児童相談所との一層の連携強化の仕組みづくりを推進
- 児童相談所が関わる子供の意見表明等を支援



社会的養護

- 児童養護施設等の職員用宿舎借り上げ支援を拡充
- 乳児院の定員枠を活用し、幼児の一時保護委託の受け入れを促進



不登校・いじめ

- 東京型不登校特例校（校内分教室）の設置や不登校巡回教員の配置
- 区市町村のスクールソーシャルワーカーに対する支援により機能を強化



若者

意見聴取・参画

- 子供・若者計画の改定に向け、当事者である若者の意見を効果的な手法で聴取
- インターネット投票を体験し、そのあり方を考えることを目的として、模擬インターネット投票体験環境を学校等に提供

若者との協働・交流

- 若者等がエンカール消費を社会へ発信する体験型企画を展開
- アントレプレナーシップあふれる学生や若者を育成するため、学生ワークショップの開催回数を増加



相談・連携

- トー横キッズや悪質なホストクラブ、オーバードーズ等の歌舞伎町界隈の諸問題に対応するため、相談窓口を設置
- 新ポータルサイト「若ぼた+」を構築し、支援団体相互の連携や支援情報の発信を強化

すまい

- 不安定な就労状態等にある低所得の若年・中年単身者に対し、就労支援策と連携して都営住宅を試行的に提供



しごと

- 早期離職防止のノウハウ等をまとめた中小企業向けガイドブックを作成
- 若者等が、職場見学等を通じて中小企業への理解を深めるプログラムを実施



高齢者

◆ いつまでも現役で活躍できる取組を推進

- ・「高齢者いきいき住宅」（仮称）認定制度の構築に向け、IoTによる見守りやコミュニティ形成等の機能を備えた住宅供給を推進
- ・食を通じた高齢者の居場所づくりとして、「TOKYO長寿ふれあい食堂」の設置を立ち上げから支援
- ・地域の関係機関や民間企業等と連携し、認知症の人の社会参加の機会を創出



女性

◆ 悩みを抱える女性への支援を強化

- ・弁護士相談体制の確保、電話相談体制の拡充により、女性相談支援センターの体制を強化
- ・女性自立支援施設における職員の確保・定着、養成及び資質の向上を図るため、職員の勤続年数等に応じた給与の改善を行い、キャリアアップ制度の構築を支援
- ・予期せぬ妊娠への不安や悩みを抱えている若者に対して、緊急避妊を含む相談支援及び医療機関への同行による受診等支援を実施



障害者・医療的ケア児

◆ 精神科病院における虐待防止を推進

- ・精神科病院における虐待防止・早期発見のため、都に通報窓口を設置、病院に対する虐待防止研修を実施
- ・精神障害者への地域包括ケアシステムの構築のため、地域移行に関する普及啓発や地域生活支援を行う市町村を支援
- ・都立特別支援学校入学後における医療的ケア児の保護者付き添い時間を一層短縮



外国人

◆ 安心して日常生活を送れる環境の整備

- ・地域における日本語教育の体制づくりを支援
- ・日本語を母語としない子供やその保護者に寄り添う「多文化キッズコーディネーター」を設置する自治体への支援を強化
- ・日本語を母語としない子供の地域の居場所として「多文化キッズサロン」を設置する自治体への支援を強化



生活困窮者

◆ 自立した安定的な生活への支援を実施

- ・生活困窮者に対して食料提供を行い、適切な相談支援につなぐフードパントリーを支援
- ・住居喪失不安定就労者等に対し、生活支援、居住支援、就労支援等を実施



ひきこもり

◆ 地域で支援に取り組む区市町村を支援

- ・相談対応を行う現場職員が一堂に会する「都内ひきこもりに係る支援者交流会（仮称）」を開催し、支援情報の共有・顔の見える関係づくりを支援



ひとり親

◆ 就職・正規雇用化を強力に後押し

- ・ひとり親等の経済的困難を抱える女性にアウトリーチでアプローチし、就職相談会やセミナー等を通じて、東京しごとセンターの就労支援につなげる



犯罪被害者等

◆ 性犯罪被害者に多様な相談方法を提供

- ・性犯罪・性暴力被害者等向けの電話相談等に加え、SNS相談を開始し、子供、若者が利用しやすい相談体制を構築



性的マイノリティ

◆ アライマークの普及啓発を推進

- ・性的マイノリティの方々への理解や支援の意思を表明する人（=Ally（アライ））の増加を目指し、「アライマーク」を活用したグッズを作成・配布するとともにPR動画を作成



全ての人が輝くインクルーシブな街・東京の実現に向け、東京2020大会を契機に進展した様々なバリアフリーの取組をレガシーとして発展させ、ユニバーサルコミュニケーションの普及をはじめとした取組を加速

これまで、東京2020大会に向けたハード・ソフト両面にわたる様々なバリアフリー施策を展開



ユニバーサルデザインのまちづくり

- ・ 競技会場周辺の主要駅等でのエレベーターやホームドア整備など、**鉄道駅のバリアフリー化を推進**
- ・ 競技会場等の周辺を中心に歩道の段差解消や勾配改善などを進め、**道路のバリアフリー化を推進** 等



心と情報のバリアフリーの推進

- ・ 社会や環境にあるバリアをなくすために必要な行動を続ける、「**心のバリアフリー**」の社会的気運を醸成
- ・ 誰もが外出時に必要な情報をスムーズに入手できるよう、「**情報バリアフリー**」を推進 等

世界陸上・デフリンピックやその先も見据え、バリアフリーの取組を更に強化

ユニバーサルコミュニケーションを普及

◆ 先進技術を社会全体へ波及

- ・ 各種イベントへの出展やスタートアップ等との協働による技術開発、都府県施設の窓口などにおける技術活用を促進
- ・ ユニバーサルコミュニケーション機器を導入する区市町村を新たに支援
- ・ 鉄道駅におけるユニバーサルコミュニケーション機器の導入支援を新たに実施



障害者の「できる」を応援

◆ 情報アクセシビリティや生活利便性を向上

- ・ 障害当事者や支援者が有する「生活の知恵」や「困りごとを乗り越える工夫」をAIチャットボットで情報発信
- ・ アプリ等を活用したスマートサービスを通じ、障害者が困りごとに対処できるようにサポートする仕組みを構築
- ・ 障害種別に応じて、スマートフォンの機能やアプリ等を使いこなせるようきめ細かく支援
- ・ 障害者の意思疎通支援のため、都の窓口情報保障機器を設置し、技術開発を支援

誰もが相互に理解しあう社会を創出

◆ 無関心層はじめ幅広い層へ普及啓発

- ・ 心のバリアフリーに関する集中的広報を引き続き展開
- ・ 子供や若者など幅広い層が集まる場で**障害者理解促進イベント**を実施。また、都立大と連携し、共生社会の実現に向けた**意識調査**等を実施



芸術文化へのアクセシビリティ向上

◆ 鑑賞サポートの取組を広く社会に普及

- ・ 都立文化施設での環境整備を推進するほか、民間への助成の新設や東京芸術文化相談サポートセンター「アートノト」において、ノウハウを学ぶ講座等を実施

安全で安心して暮らせる住環境を整備

◆ 住宅の耐震改修とあわせたバリアフリー化

- ・ 住宅の耐震改修に関するアドバイザー制度を拡充し、耐震改修にあわせたバリアフリー化などを総合的に助言



誰もが円滑に移動できる環境を整備

◆ 都施設のバリアフリー化を更に推進

- ・ 新宿線瑞江駅、大江戸線光が丘駅などでバリアフリールートを充実
- ・ 既設道路橋のバリアフリー化に向けて、佃大橋等の調査・設計を実施



地域公共交通の充実・強化

◆ 誰もが使いやすい交通結節点の整備

- ・ 駅前広場の整備や再編に合わせ、新技術も活用し、**フィーダー交通の充実**や新たなモビリティの導入など、交通結節機能の向上に取り組む区市町村と連携



(出典) 東京における地域公共交通の基本方針

あらゆるバリアが取り除かれた、「段差のない社会」を実現